



第3会場

(3階 303 + 304号室)

7月31日(日)
11:40~12:30

(予定)※若干の時間変更の可能性がございます。

ランチョンセミナー セミナー番号 LS9

歯周病予防には Pg菌対策

講座内容

歯周病は、バイオフィルムが低病原性から高病原性に変化することが原因です。その結果、「バイオフィルムの攻撃力 vs 歯周組織の防御力」のバランスが崩れ、歯周病が発症・進行します。

バイオフィルムの高病原化に大きく関わっているのが、最強の歯周病菌 *Porphyromonas gingivalis* (Pg菌)です。この菌は keystone pathogen (要となる病原菌)と呼ばれ、バイオフィルム全体の病原性を高めるための中心的役割を果たします。

Pg菌に加えてレッドコンプレックスと呼ばれる他の歯周病菌の存在も見逃してはいけません。これら細菌種の検出には PCR 細菌検査が必要です。1度に4菌種が検出できる卓上機器が開発されました。ごく近い将来の臨床応用が期待されています。

Pg菌が検出されたらどうするの? という疑問にお答えするために、Pg菌の病原性を抑制する成分を配合した歯磨剤が発売されました。この歯磨剤はPg菌だけではなく、他のレッドコンプレックスにも効果を示すという結果も出つつあります。本講演では、歯周病の発症・進行におけるPg菌の役割と、Pg菌の検出方法、そしてPg菌を抑制する成分の効果についてお話します。

ATSUO AMANO



天野敦雄先生

【略歴】

1984年 大阪大学歯学部 卒業
1987年 大阪大学歯学部予防歯科学講座 助手
1992年 ニューヨーク州立大学歯学部 博士研究員
1997年 大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 講師
2000年 大阪大学大学院歯学研究科 先端機器情報学 教授
2011年 大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学 教授
2015年 大阪大学大学院歯学研究科長・歯学部長 (2019年3月迄)
現在に至る

【所属及び所属学会等】

大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫学講座 予防歯科学・教授
日本口腔衛生学会 (理事長)
大阪府生涯歯科保健推進審議会 (会長)
京都市健康づくり推進会議 口腔保健部会 (部会長)
神戸市歯科口腔保健推進懇話会 (会長)

ランチョンセミナーにつきましては、大会ホームページ上で事前申込を行っております。先着順となりますので、お早めにお申し込みください。
残席のある場合には、セミナー当日にヨシダ展示ブースでランチョンチケットを配布いたします。是非、お立ちよりください。